

あしやの 幼児教育

令和元年度 (No. 1)



芦屋市立幼稚園教育研究会

はじめに

幼稚園教育要領が改訂されてから2年目を迎え、市立幼稚園では、幼児期の学びについて明確にすることや小学校教育との連携について取組を進めています。

また、近年さらに幼児教育の重要性が語られるようになってきましたが、幼児教育・保育の無償化に伴い、幼児教育に対する評価がこれまで以上に問われることになると考えられます。

芦屋市立幼稚園教育研究会では、わかりにくいといわれる幼児教育について可視化を図り、幼児期に大切な学びについてわかりやすく発信することを目標に本冊子を作成いたしました。

市立幼稚園では、芦屋市の教育・保育理念「“いのち”を大切にし、生きる力の基礎を育む」に基づき、育てたい子ども像として「あかるく元気な子ども」「しっかり考え合う子ども」「やさしい子ども」をその目標として掲げ、幼児教育に取り組んでいます。本冊子では、この目標につながる各園での実践事例をまとめました。本冊子をまとめるに際し、大阪総合保育大学 瀧川 光治教授にご指導いただきましたことに深く感謝申し上げます。

今後も本市の幼児教育の質の向上のために幼児教育のセンター的役割を果たしていけるよう研究を深めてまいります。

【本冊子の構成】



芦屋市の育てたい3つの子ども像を色分けしている。
 「あかるく元気な子ども」→ 桃
 「しっかり考え合う子ども」→ 緑
 「やさしいこども」→ 黄

事例における主な育ちについて記入

子どものつぶやきや感じていることを吹き出しに記入

実際の子どもの姿を撮影した写真

教師が特に意識して援助した内容を記入

事例の遊びを通して、主に子どものどのような面が育ったのかをまとめている。

事例の遊びを通して、保護者が感じた子どもの育ちを記載

※の写真の場面で、「幼児期において育みたい3つの資質・能力」及び、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のどの項目に幼児の育ちが繋がっているのか分析。さらに、それが小学校のどの教科の資質・能力につながっているのかをさらに分析。
 (分析する上で、『幼稚園においては、生きる力の基礎を育むため、幼稚園教育要領第1章総則の第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえ、3つの資質・能力を一体的に育むよう努める』及び『「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するもの』であることを踏まえる。)



幼稚園教育要領の目標	ねらい・内容	学びに活かす力・人間性	小学校1年生の学びに活かす力・人間性
・遊びを通して、自分の持っている力や方法を伝える	・4歳児にできるようなことをほいほいと試す	・4歳児に伝えたいこと	「健康な心と体」「自由心」「言葉による伝え合い」
・4歳児にできるようなことをほいほいと試す	・4歳児にできるようなことをほいほいと試す	・4歳児に伝えたいこと	「健康な心と体」「自由心」「言葉による伝え合い」
・4歳児にできるようなことをほいほいと試す	・4歳児にできるようなことをほいほいと試す	・4歳児に伝えたいこと	「健康な心と体」「自由心」「言葉による伝え合い」

目 次

はじめに

本冊子の構成

- ・ あかるく元気な子ども 1
- ・ しっかり考え合う子ども 5
- ・ やさしい子ども 9
- ・ 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力
. 13
- ・ 幼児期の終わりまでに育てほしい姿 15



あかるく元気な子ども

粘り強さやコミュニケーション能力を育てる保育

『力を合わせてハッピータイム』

4歳児5歳児の異年齢がペアになり、様々な遊びをする時間を“ハッピータイム”と呼んでいる。ハッピータイムでは、自分達で考え設計した巧技台のコースに挑戦し、ペアやグループ（ペアを複数組）で力を合わせて達成する喜びを味わえることを願っている。この活動を通して、4歳児は5歳児に憧れをもって生活している様子が伺える。



巧技台のこのコースは、どうだったかな？



《 Point 1 》
自分達で準備できるように
設計図（ボード）を置く

大きなマットも
友達と力を合わせて
よいしょ よいしょ



《 Point 2 》
力を合わせて運び、友達と
協力し合う姿を認める



5歳のお兄さん
お姉さんが準備
をするよ

《 Point 3 》
先生は安全に配慮
しながら子どもに
任せ見守る

怖い時は、大きい組さんが助けてあげるからね



大きい組さんとならできそう！



※ 1

大空に向かってジャンプ！！

《 Point 4 》
5歳児が有能感を感じ、自信につながるように言葉を掛ける

～ 子どもの学び ～

- ・繰り返しよじ登ったり、バランスを取ったりして、様々な体の部位を使って思い切り体を動かすことが好きになり、粘り強くなる。
- ・異年齢で様々な経験をすることで、友達の考えや困っていることに気付くようになる。



【 保護者の声 】

- ・ハッピータイムを通して、チャレンジする気持ちが育った。
- ・5歳児になり責任感も出てきて、友達や4歳児との関わりが増えた。
- ・チャレンジする気持ちを育てるのは親だけでは無理だったかも知れない。幼稚園パワーはすごいなと思った。



※ 1 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 跳び方を知っている ・ 4歳児にどのように教えてあげればいいのか知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の知っている跳び方を教える ・ 4歳児の手をつなぎ、支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4歳児に教えあげたいと思う ・ 4歳児にできるようになってほしいと思う ・ 跳べるようになった嬉しさを味わう ・ 友達の困っていることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 「健康な心と体」 「自立心」 「言葉による伝わり合い」 	国語 生活 体育



あかるく元気な子ども

意欲をもち、粘り強く取り組む力を育む保育

『魔法の縄跳び』 4歳児



大きい組さん
すごいな！

僕もやって
みたい！

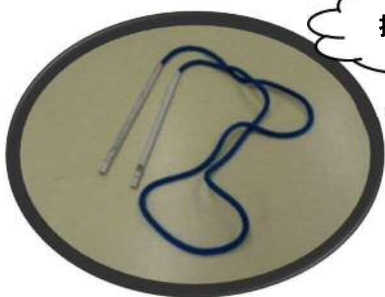
教師の願い

5歳児が縄跳びをしている様子を興味深く見ている4歳児。5歳児の姿を見せることにより、4歳児のやる気を膨らませたい。

《 Point 1 》

縄が回しやすくなるよう縄の先に新聞紙を巻き、持ち手を長くした「魔法の縄跳び」を準備する

持ち手が長い！



そうそう！
それでいいよ

私もできた！

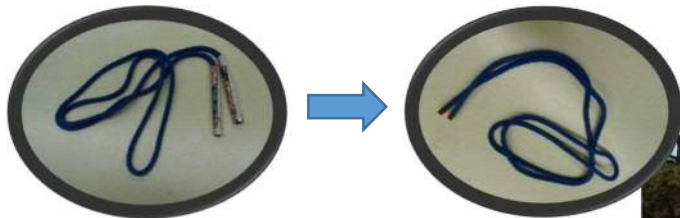
※ 2



教師の願い

5歳児に教えてもらったり、応援してもらったりすると、ますます張り切る4歳児。5歳児との関わりを大切にしながら継続して遊んでほしい。

本当だ、
縄が回しやすい！



《 Point 2 》

一人一人に応じて少しずつ新聞紙を切って、持ち手を短くしていく

回せた！
魔法の縄跳びだね

縄跳びで一緒に遊ぼう



縄跳びって楽しいね！

《 Point 3 》

自信をもち、新たな活動への意欲となるよう個々の取り組みをしっかりと認める



持ち手がなくても跳べるようになったよ

友達に応援してもらおうと嬉しいな



先生に褒めてもらった



大きい組になったから今度は竹馬チャレンジだ！



一輪車で友達とメリーゴーランドができたよ！



～ 子どもの学び ～

- ・ 難しそうだと感じることでも、繰り返し遊ぶとできるようになる。
- ・ できたら嬉しくなって、好きになる。好きになるともっと跳びたくなり、やる気が増す。
- ・ 喜びを友達と分かち合いたくなる。できたことが大きな自信となる。
- ・ 自信がつけばもっといろいろなことにチャレンジしたくなる。

※ 2 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
・ 持ち手が長いことで回しやすいことが分かる	・ 繰り返しやってみて、自分なりの跳び方をつかむ	・ 大きい組さんみたいに跳びたい ・ 跳べるようになってうれしい、もっと跳びたい	「健康な心と体」 「自立心」	体育 生活



しっかり考え合う子ども

興味・関心を引き出す保育

『ふしぎランドには、ふしぎがいっぱい』

4 歳児



カラスノエンドウ豆の笛遊び

～草花に詳しい地域の方の教育力を生かして～

《 Point 1 》

「なんだろう」「やってみたい!」と興味をもてるようにカラスノエンドウ豆の笛を鳴らす



草で音が鳴るの?

ピー

え!? 何の音?

どうやってなるの?

教えて

優しく「ふー」して噛まないでね

おもしろい音だね

試行錯誤する

ぶくぶくな豆がいいよ

※ 3

うまく鳴るかな

もっと口の奥にね

見る! 考える! やってみる! 何度も!

《 Point 2 》

自分で音がなりそうな豆を探したり、気付いたり出来るよう、繰り返しできる時間をもつ

実際に

見て(視覚) 聴いて(聴覚) 嗅いで(臭覚)

味わって(味覚) 触って(触覚)

五感を通して

初めて鳴った喜び
やった～

5 歳児

《 Point 1 》 “個々の気づき”を目に見えるものにする

5 歳児が「ふしぎランドの地図」を作って知らせる

ここには、小さな三角のお花が咲いてたよ

このピクおいしかったね

今は葉っぱだけだね



季節の変化に気付く

季節の循環を知る

《 Point 2 》

気づきを共有する

大きい組さんの言っていた葉っぱあったね

【保護者の声】



- ・家庭では、自然に関わる機会が少なく、園で色々な経験をさせてもらってありがたい。
- ・虫が苦手だったが、積極的に関われるようになった。
- ・親子共に、自然や生き物に親しみがもてるようになった。



～ 子どもの学び ～

- ・自然とふれあうことで、五感を刺激され、興味、関心、好奇心が育つ。
- ・「なぜ」「どうして」「不思議だな」という疑問や想像力を働かせ、探求心やコミュニケーション能力が育つ。
- ・試したり工夫したり、様々なものや人との関わりが、思考力の芽生えにつながる。

※ 3 の学びのつながり

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
・豆で音が鳴ることを知る	・いい音を出すためによく膨らんだ豆を探す ・豆笛のくわえ方、息の吹き方を何度も試す	・友達や教師のように、音を出してみたいと思う ・自分で鳴らせるようになって嬉しい	「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「豊かな感性と表現」	算 数 生 活

* 不思議ランドは、隣接する打出教育文化センターの庭園です



しっかり考え合う子ども

探求心・思考力を引き出す保育

『 幼稚園中のおいもとぼく、どっちがおもいかな? 』 5歳児



ぼくの体重 19.0 kg!

幼稚園中のおいもとどっちが重いかな?

比較して考える

《 Point 1 》

体重測定といもの収穫を一緒の日にする



いくつでてくるかな~

いっぱいほろぞ!

関連させて考える



思い思いの順番に並べてみる



《 Point 2 》

いくつあるか数えてみたくなる環境

- ・ブルーシートを敷いておく
- ・**大きさを意識できる**ように表示したカゴをおいておく



ぼくは**小さい**順

ぼくは**大きい**順



『 “ずっしり” っていうことは…重たいっていうこと！量ってみよう！ 』

《 Point 3 》
 幼児が気付いた
 “ずっしり” という
 ことから考えてみる



1個はこれくらいね！

ずっしりして
いるなあ！！

検討して考える

ずっしりしているってどういうこと？

じゃがいもとSくん、どっちが**重い**かな？

10個分くらいと一緒かな

おいもが**重い**

Sくんかな？

※ 4

量りながらふやしてみたらどう？





～ 子どもの学び ～

- ・ 自分で育てた野菜を収穫する喜びを味わい、自然の産物であることを実感する。
- ・ 比較や関連・検討をしながら、重さや数の感覚や概念をもつようになる。
- ・ 自分なりに予想をし、友達と考えを言葉で伝え合いながら、さらなる探求心をもつ。

※ 4 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに 育てほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ じゃがいもの重たさを感じている ・ ずっしりという言葉を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の掘ったジャガイモの重さを量りで量る ・ じゃがいもの個数をかえて量ってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の体重と、ジャガイモの重さを比べてみなくなる ・ 友達の体重とジャガイモの重さを同じにしてみようと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 「思考力の芽生え」 「数量や図形、標識や文字などへの関心感覚」 「言葉による伝え合い」 	<ul style="list-style-type: none"> 生活 算数 国語



やさしい子ども

幼稚園と小学校をつなげる保育

『 小学校のお兄さんお姉さんってやさしいな 』

<1 学期> ~5年生とプール遊び~

顔に水がかかって
も大丈夫？

大丈夫！！

《 Point 1 》
来年度ペア学年になる，5歳児と
5年生のかかわる機会をつくる

もう一回
くぐって
みよう！

潜って
くぐれ
るよ

すごい！！

トンネル
くぐれるかな？

シャワー
ちょっと怖いな・・・



<2 学期>

~5年生が幼稚園に遊びに来てくれたよ~

ドキドキするな・・・

名前と好きな食べ
物を教えてね

♪はないちもんめ♪



次，僕の名前
呼んでほしいな

言えなくても
大丈夫だよ

後からでもいいよ

《 Point 2 》
親しみをもてるように，継続
してかかわる機会をつくる

だるまさんがころんだ！

絶対に動かないぞ



< 3 学期 > ~小学校ってどんなところ?~



《 Point 3 》
「1年生を迎える会」に参加し、子どもが感じたり、気付いたりしたことに共感する



~ 子どもの学び ~

- ・小学生へ親しみを感じ、憧れの気持ちが芽生える。
- ・小学校生活へのイメージが膨らみ、期待が大きくなる。



小学校の先生の声
幼児期の子どもたちの様子を知り、小学校の受け入れに生かしています。5年生は張り切って活動し、成長の機会となりました。

「新1年生の集い」のおみやげ ♥ (手作りマグネット)



【 保護者の声 】

- ・子どもが、お兄さんに手紙を書きたくなるくらい大好きになりました。
(実際に書いて渡しました)
- ・お兄さんお姉さんに優しく声をかけてもらったことが、嬉しかったようです。
- ・入学式で、交流した小学生に再会して喜んでいました。
- ・学校生活に不安があったけれど、交流があって小学校の雰囲気分かり、安心しました。



※ 5 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 → 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の話を聞いて、小学校生活について知る ・ 1年生のやさしさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に小学校の生活について教えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に教えてもらって嬉しい、楽しい ・ 就学を意識し、小学校生活に期待を膨らませる 	「社会生活との かかわり」 「言葉による 伝え合い」 「自立心」 国 語 生 活



やさしい子ども

幼児の表現力や思考力を引き出す保育

『お店屋さんごっこ（乗り物屋さん）にいらっしやい』 どんなお店にする？ 年少組さんも一緒にしよう！

乗り物屋さんには何がある？

電車！

車！

本物みたいな信号機ができそうだね！

年少組さんは何がいい？

JRがいいな

大きい車も作ろうよ

阪急も！

《 Point 1 》

- ・様々な素材を子どもの見える場所に準備する
- ・何度も試して工夫できる場と時間を確保する

ぼくたちの乗り物をつくろう！

中に入れるようにしよう！

※ 6

窓は、段ボールカッターで切ろう！

踏み切りは、
僕が開けるね！

ぶつからない
ように、信号
はここでいい
かな？

友達にお客さんになってもらおう！

連れて行って
あげよう

わかりやすいな

《 Point 2 》

- ・子どもが取組もうとしていることが実現できるよう素材を見直し環境を再構成する
- ・友達とイメージが共有できるように話し合いの場をもち、次の目的を明確にする

うまくいかないのは、どうして？

《 Point 3 》
グループでうまくいかないことをクラスの話
題にし、いろいろな意見が聞ける場をつくる

電車のホームと車の車庫を作ろう！

どこで電車を待っていたらいい
のか、わかりにくいよ



どうしたらいいんだろう

僕もわからなかった



これで大丈夫かな？

いっぱいお客さんが来てくれて、大成功！

車が来ていないので、踏切開けます



ドクターイエローがいいです

何に乗りますか？



車の道は、こっちですよ～

～ 子どもの学び ～

- ・繰り返し楽しんで遊ぶことで、友達の考えや困っていることに気付くようになる。
- ・問題がわかり、解決するために話し合うことでお互いの考えを共有し、遊びが深まりより楽しくなる。
- ・自分たちが考えた遊びをお客さんに楽しんでもらえることで、達成感を味わう。

※ 6 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・人が乗れる大きさの箱を選ぶ ・段ボールカッターの使い方を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・本物に近づけるために窓を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが喜んでくれることを楽しみにする 	<ul style="list-style-type: none"> 「協同性」 「思考力の芽生え」 「数量や図形、標識や文字などへの関心感覚」 「言葉による伝え合い」 	<ul style="list-style-type: none"> 算 数 生 活 図 画 工 作

【子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力】

	幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能の基礎	(2) 思考力, 判断力, 表現力等の基礎	(3) 学びに向かう力, 人間性等
遊びや生活	豊かな体験を通じて, 感じたり, 気付いたり, 分かたり, できるようになったりする。	気付いたことや, できるようになったことなどを使い, 考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したりする。	心情, 意欲, 態度が育つ中で, よりよい生活を営もうとする。

	小学校第1学年で育成することを目指す3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
国語	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに, 我が国の言語文化に親しんだり, 理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い, 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
算数	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し, 量, 図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね, 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに, 加法及び減法の計算をしたり, 形を構成したり, 身の回りにある量の大きさを比べたり, 簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの数に着目し, 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力, ものの形に着目して特徴を捉えたり, 具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力, 身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え, 量の大きさの比べ方を考える力, データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数量や図形に親しみ, 算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

生活	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行いを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1)健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2)自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3)協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4)道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5)社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域の親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6)思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7)自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをかかわるようになる。
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9)言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10)豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※ 出典・参考文献

- 幼稚園教育要領（平成29年告示） 文部科学省
- 幼稚園教育要領解説（平成30年3月） 文部科学省
- 小学校学習指導要領（平成29年3月告示） 文部科学省

